

令和 6 年度 第 1 回勝山市総合行政審議会
議事録

日時：令和 6 年 10 月 24 日（木） 19：00～

場所：勝山市役所 3 階 第 1 会議室

1. 開会

会長あいさつ

2. 令和 6 年度の審議内容及び開催スケジュールについて

3. 議事

（1）福井県長期ビジョン実行プラン等について

福井県未来戦略課から説明

～意見交換～

（2）第 2 期勝山市地方創生総合戦略 進捗状況について

2 つの「創る」未来の地域を創る

政策目標 1 活力あふれる地域コミュニティを創る

No.4 コミュニティ活動の拠点となるまちづくり会館を設置 について

委員 まちづくり会館職員が防災士資格を取得して、今後どのような活動を予定しているのか。

事務局 まちづくり会館は一時避難所に指定されており、非常時には避難所の担当職員を配置するが、開館時間にはまちづくり会館職員が第一に動いていただけるよう、資格を取得し対応できるように期待している。

委員 市の防災会議でも話したが、行政に全て負担させるやり方ではなく、地区の人を巻き込んだ活動をしていただきたい。まちづくり会館職員は地元の間人であるとは限らない。万が一広域に被災したら、会館に行くこともできない人もいる。現在の体制では地区の人は避難所でお客様状態になる。そうではなく、地区住民が主体的にやっていけるような活動をしていただきたい。

委員 公民館を社会教育の拠点からまちづくりの拠点に移行したことは、個人的には正しいと認識している。先進地として坂井市は独自の取組みで上手くいっていると思うので、参考にしたい。

政策目標 2 持続可能な集落を創る

意見なし

政策目標 3 住民主体の新しい暮らしを創る

意見なし

2つの「創る」まちの楽しさを創る

政策目標 1 多彩な交流によるにぎわいとつながりを創る

No.14 関係人口との関わりを強化 について

委員：以前、小原地区で古民家再生に福井工業大学の学生が関わっていたことがあったと思う。あのようなことにもっと取り組んでも良いと思う。建築系の学生が関わって、昔の人たちの暮らしや道具を学んだりすることができる。そのために外部の優秀な先生を呼ぶのも良いと思う。

委員：福井大学の国際地域学部の学生が、かつやま WakuWaku 文化フェスタに参加している。関係人口としてそういったところを数値として上げて良いのではないか。

委員：県立大学の恐竜学部が勝山にオープンする。全国から学生が集まる予定。学生と地元のつながりをつくるのは関係人口の創出につながる。ぜひ学生を巻き込んでほしい。市民総合大学もぜひ県立大学のオープンカレッジと連携するとよいと思う。

委員：移住サポーターのイベントはだんだん人が集まるようになってきた。引き続き支援してほしいが、移住サポーターがメインで企画するので負担がかかっている。市全体の交流イベントとして市全体の移住者が集まるようなイベントになると良い。

政策目標 2 やりたいことに挑戦できるまちを創る

No.18 伝統文化、文化芸術活動の振興と継承を支援 について

No.20 高齢者と若い世代の交流を支援 について

委員：勝山左義長では、お囃子だけではなく、櫓の組立についても子どもと一緒に立案・参画してもらってはどうか。それによりお祭りに対して自主性を持つことになる。それが文化の継承にもなり、高齢者と若い世代や子どもたちとの交流にもつながるのではないかと思う。

委員：祇園祭りでも全国から人を集めて存続に向けて取り組んでいる。子どもや学校を巻き込んでやるのは良いと思う。

委員：日本人だけではなく外国人も巻き込んでやってはどうか。

委員：私の知人では、学校やこども園をきっかけに左義長まつりに関り、左義長ばやし保存会に参加した子どももいる。櫓のある地域関係なく太鼓を叩く機会を作ると、興味を持ってやりたいという子どもが増えてくるのではないか。勝山のお祭りなのに、中心部しか盛り上がっていない感じがする。誰でも参加できる仕組みにしてほしい。

委員：かつやまっ子応援ネットワークの取組みで、櫓のない地区の子どもの講習会をやっている。今年もやろうと思っているので、ぜひPRに協力してほしい。

3. 閉会